

時、必要な部分を自分で作ってしまうという気力と能力が問題解決の力となる事は否定出来ない。学生も教授もよく議論した。小林さんの仕事はこういった雰囲気の下で進められたと想像される。

雲物理研究室の前には小じんまりした Princess Gardens があり、日射のある時には楽しい散歩の場所を与えてくれていた。South Kensington には Natural History Museum, Victoria and Albert Museum, Science Museum があり、内容は充実していて入場料はすべて無料であった。Exhibition Road を South Kensington の地下鉄駅から逆に辿ると Hyde Park に行き当たるが、そこにも草花の繁る、よく手入された散歩道が幾つかあり、ベン

チが適所に配置され、老人の日なたぼっこが目立った。大学の人もよく散歩していて、科学と教育に適した環境であった。その公園の南側に Kensington Road を隔てて円屋根の Royal Albert Hall があり、オペラがよく催された。小林さんはよく通つたらしい。

英国人は保守的である。物事を凝って掘り下げる人が多い。小林さんも凝り性で渡航前に既にその傾向を示しかけていたが、Imperial College 時代にこの英国と英国人の気風が彼のその後の凝り性の生活や研究態度に強い影響を与えたのではなからうか。

御冥福を祈る。

(ユタ大学 福田矩彦)

日本気象学会国際学術交流基金への募金のお願いと寄付者御芳名 (第12報)

日本気象学会は、かねてから各国の気象関係組織および研究者との学術交流を図るため、国際学術交流基金をもうけて、学会もしくは会員の学術交流の援助を目的とした活動を致しております。実施にあたっては、外国で開催される国際学術研究集会への会員の出席の補助、国際学術交流に貢献する事業の援助などです。

本来この基金は、少なくとも一千万円程度の元金がありますが、その利息で活動費をまかなうことを目標としていますが、現在のところ、その過渡期として、学会自身の年間予算から毎年約百万円を積み立て、並行した、わずかの一般事業費と篤志による個人寄付金で活動を行って

おります。

基金の基礎を固めるためには、是非、会員の皆様からの御寄付をお願いします。理事会としては、さちには大口の団体寄付を仰ぐべく努力致す所存です。国際学術交流基金の趣旨を御理解いただき、12月号挿入の振替用紙を御利用の上、一口千円として、なるべく多くの御寄付をお願いします。

なお、募金期限は昭和62年12月末日と致しますが、早い時期にお振り込みいただきますようお願いいたします。

昭和62年6月

日本気象学会

昭和62年5月31日現在、下記の会員からご寄付がありましたので、お礼を兼ねて報告申し上げます。(敬称略)

記

権田 武彦, エーロゾル研究グループ(代表 北川信一郎), 原見 敬二, 柴田 宣

| | | | |
|--------------|-----------|------------|----------|
| 以上 3名 | 1団体合計口数 | 105口 | 105,000円 |
| 累計118名 | 1団体総口数 | 968口 | 868,000円 |
| 62. 5. 31 現在 | 国際学術交流基金額 | 5,000,000円 | |
| | (うち配当金 | 158,683円 | 基金繰入) |